

# 大袋の梅花藻

梅花藻は、初夏～初秋にかけて見頃を迎えます。6月下旬から7月初旬ごろがピークで、その後も長く楽しむことができます。

## ●大袋はこんなところ



集落を2つにわけるように杉原川（すぎらがわ）が流れています。



(川西) 集落の主要道路沿いに、農業用水路があり、そこに梅花藻が群生しています。梅花藻のために、水路を整備されています。川西の水源は、元は杉原川ですが、途中で湧き水と合わさり、川西の水路へ流れ込んでいると言われており、この水が梅花藻にちょうどいいのでは、ということです。



(川東) 集落の真ん中を水路が走り、梅花藻が群生しています。川東の水路の水源は、杉原川です。

## ●梅花藻 (2023年5月9日)



## ●梅花藻が見られる水路



(川西) 川西の梅花藻は、昔々、水路が整備されない頃、農業用水はもちろん、人々の生活用水として利用されている頃から群生しており、人々の生活と共にあり、共生していました。



(川西) 水路を整備する際に、梅花藻が絶えないようにと、溝底の一部をコンクリートせず自然の川底を四角く残し、梅花藻の根を残しました。



(川西)

大袋集落では、毎月最終日曜日に、住民総出で水路の掃除を行っています。村の宝である梅花藻を、みんなで守ろうと取り組んでいます。



(川東)



(川東)



(川東) 川東の梅花藻は、川西の梅花藻を移植して定植させました。平成8年頃に、水路の整備を行い、梅花藻が生育するようにと、溝底はすべて土の状態にし、石垣を積んで風情があるようにデザインされました。



今回梅花藻の写真を撮影した場所

